

編集後記

今号では、筆者のほかに金谷先生、廣田先生、マグダリーン先生にご投稿頂いた。金谷先生には専任退職後も非常勤講師として英語教育に携わって頂いていたが、今年度で非常勤講師の職も退職される。大変残念だが、名誉教授としてこれからも学部教育にお力添え頂くとともに、『麒麟』へもご研究の成果の発表を引き続きお願いできるとありがたい。

前回、廣田先生にご投稿頂いたときは、印刷会社とのトラブルで大変にご迷惑をおかけしてしまった。その際の失態をお許し頂いてまたご投稿頂き感謝が尽きない。

また、今回は特任外国人教員として教鞭をとっていらっしゃるマレーシア人のマグダリーン先生にも俳句のご投稿を頂いた。聞くところによれば、もともと『麒麟』は俳句好きの教員たちが俳句を投稿する雑誌としてスタートしたらしい。そういう意味では、長い時を経てもとの姿に戻ったと言えなくもないが、いずれにしても、どのような形の文章であれ受け入れるのが『麒麟』の良いところである。これからも学术论文に限らず、フィクションやエッセイなど活発なご投稿を頂けると幸いである。

執筆者紹介

金 谷 良 夫

廣 田 律 子

Magdalene Ang Chooi Hwa

関 真 彦

麒麟

第34号

令和 7 年 (2025) 3 月 31 日 発行

発行所 神奈川県横浜市西区
みなとみらい4-5-3(〒220-8739)
神奈川大学経営学部関研究室内
十七世紀文学研究会
電話 (045) 664-3710
無断禁転載
代表・関 真 彦

印刷所 神奈川県横浜市金沢区鳥浜町16-2
株式会社ポートサイド印刷